

統合産婦人科学研究コアセンターでは、柔軟かつ大局的な視野で研究を進め、生命科学の謎を解明することに挑戦します。

将来の産婦人科学研究を飛躍的に発展させ世界のトップレベルの研究を展開するためには、現在のような狭い研究分野・研究チームで研究を進めることほかえて研究の発展を妨げるものです。求められるのは、産婦人科領域を超えた大きな視野と戦略であり、専門集団相互の情報共有と効率的な人的・経済的資源の運用です。また、産婦人科全体を俯瞰的に見渡すことが

統合産婦人科学研究コアセンター

八重樫伸生コアセンター長



できる体制が必須です。そこで、各研究チームの深い専門領域間の融合、大きく

大きな視野と戦略で

領域超え世界レベルの研究

広がったすそ野を俯瞰する専門領域間の再統合を産婦人科学研究で行います。以前の産婦人科学の再統合ではなく、広くかつ深くなった各研究領域の再統合・融合の場を構築することが、本領域の研究を飛躍的に発展させる鍵です。これまでの活動成果として、定例早朝合同研究ミーティング、若手主催の産婦人科研究基盤セミナー(計8回)、統合産婦人科研究合同セミナー(計19回)、合同シンポジウム(計2回)を行い、研究発表・討論を行いました。

▽第1回合同シンポジウムを募集し、産婦人科領域の研究をさらに活性化させ、将来全国に指導的研究者を輩出することを目指したいと思えます。

▽第2回合同シンポジウム(平成24年2月21日)特別講演：筑波大学・松本光司先生「我が国におけるHPV感染と子宮頸部発癌のリスク」

統合産婦人科学研究コアセンター

